

市議会だより

平成28年
第4回定例会
第254号

平成29年(2017年)
2月20日発行

発行／小金井市議会
〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

編集／広報協議会
TEL (042) 387-9947(直通) FAX (042) 387-1225

小金井市議会ホームページアドレス
http://www.city.koganei.lg.jp/
shisei/gikaijimukyoku/



武蔵小金井駅南口で開催された
小金井市消防団出初式(1月8日開催)

市庁舎・福祉会館建設に関して市長報告

「平成33年度完成(目標)」 議会から見直しを求める声

市職員の勤勉手当(ボーナス)増額条例を否決

第4回定例会の概要

平成28年第4回定例会(篠原ひろし議長)は、12月1日に開会し、12月22日に閉会しました。

市長が市庁舎・福祉会館建設について、新たな方針を報告

12月20日の本会議で、市長から新庁舎及び新福祉会館の建設に向けた方針について報告がありました。市長の新しい方針は次のとおりです。

- ▼ 清掃関連施設の再整備については、慎重かつ丁寧に進める。
- ▼ 新庁舎及び新福祉会館は、平成33年度竣工を目標とする。
- ▼ 第二庁舎賃貸借契約は、新庁舎竣工後、適切な時期までとする。

▼ 関連予算及び更なる検討の成果等については、平成29年第1回定例会にて示すこととする。

なお、質疑において、多数の会派から、方針の根拠について詳細な説明を求める意見や、方針の見直すべき点についての指摘がありました。その後、12月22日の本会議では、関連する決議(詳細は8面に掲載)も提案しましたが、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を否決

本条例は、東京都人事委員会勧告等を踏まえ、職員の勤勉手当の年間支給月数を0.1月分引き上げるとともに、給料表及び扶養手当の支給額の見直しなどを行うため、改正を行うものです。

本件は、12月8日の本会議において総務企画委員会(関根優司委員長)に付託し、12月14日、21日の計2回にわたり審査を行いました。12月22日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

一般会計補正予算(第6回)を可決

補正予算の主な内容は、公立小・中学校の事務の共同化に向けた「学校運営に要する経費」(86万4千円)、期日前投票所の増設等に伴う「市議会議員選挙に要する経費」(576万6千円)などが計上されたほか、複数年度にわたる事業の限度額を設定する「債務負担行為」として、庁舎建設予定地地歴調査委託料、福祉会館解体工事、解体工事に伴う監理委託料などが設定されるものです。

本件は、12月1日の本会議において予算特別委員会(中山克己委員長)に付託し、12月15日、21日の計2回にわたり審査を行いました。12月22日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

平成28年第4回 定例会日誌

12月	
1日	本会議(議案の審議・委員会付託、議員提出議案の採決、陳情の撤回・採決)
4日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問)
8日	本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
9日	議会運営委員会
12日	厚生文教委員会
13日	建設環境委員会
14日	総務企画委員会
15日	予算特別委員会
16日	行財政改革調査特別委員会
19日	資源循環型社会推進調査特別委員会
20日	本会議(市長報告、陳情の訂正)
	厚生文教委員会
	建設環境委員会
	総務企画委員会
21日	予算特別委員会
22日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)

議員研修会を開催しました

11月14日に、「自治体の地域防災と災害時の議会、議員の役割」をテーマに、鍵屋一さん(跡見学園女子大学教授)を講師にお招きし、市民の方にも公開しての議員研修会を開催しました。

審議した主な議案

平成28年度一般会計補正予算(第6回)

予算の概要は1面に掲載しています。

【反対討論(要旨)】

森戸洋子(日本共産党)

新庁舎建設予定地の地歴調査、保育士の宿舎借上補助など、市民の生活に密着する予算が組まれている点は賛成である。しかし、小・中学校の事務の共同実施化については、現場での協議が行われず、副校長の負担軽減の根拠も不明のまま予算が計上されたことは問題である。また、市庁舎と新福祉会館建設のスケジュールが示されたが、内容も含めて不透明である。市民の生活を守りながら、清掃関連施設、新福祉会館など優先順位を明確にして取り組むべきである。

【賛成討論(要旨)】

遠藤百合子(自民党小金井)

賛成の理由は次のとおり。①庁舎建設予定地地歴調査委託料として、東京都土壤汚染対策指針に基づき庁舎建設予定地を調査し、予定地の土壌汚染の恐れの有無を確認する費用が計上されていること。②平成29年4月に貫井北町二丁目に45区画の市民農園の造成が計画され、その造成工費が計上されていること。③貫井北町二丁目に平成29年4月開園予定である、認知症高齢者グループホーム等施設建設の費用が計上されていること。

【反対討論(要旨)】

林 倫子(生活者ネット)

学校事務の共同実施に係る経費が計上されている。事務の効率化、事務員の育成、副校長の多忙化の解消というが、事務分

採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【反対討論(要旨)】

渡辺大三(リベラル保守)

市議選や市長選のポスター印刷代、選挙カー借上げ代、ビラ印刷代等の公費負担限度額の引上げは不要である。前回の市議選(平成25年)では、限度額めいっぱいまで請求した候補者はわずかであり、現在の額で十分すぎる。公費助成の趣旨は「必要」経費を補助することであり、必要以上に税金を投入する事態を招きかねない条例改正は害悪ではない。満額を手中にした候補者が、不正請求をして税金をだまし取る事件を起こす可能性も懸念される。

【賛成討論(要旨)】

平 成 28 年 度 一 般 会 計 補 正 予 算 (第 7 回)

12月8日の本会議において予算特別委員会(中山克己委員長)に付託し、12月15日、21日の計2回にわたり審査を行いました。

【賛成討論(要旨)】

中山克己(自民党小金井)

予算の主な内容は、給与改定に伴う「職員人件費」(2千17万4千円)、東小金井南第3自転車駐車場撤去に伴う「自転車対策に要する経費」(2千30万4千円)などです。

【反対討論(要旨)】

露口哲治(小金井自民)

市の財政調整基金から約2千万円を取り崩し、給与増額に充てている。市の平成26年度人件費比率は多摩26市平均や類似団体と比べて最も高い。給与影響額として平成28年度は約7千200万円増額となる。人件費削減案として、副市長及び教育長の給料を5%引き下げを提案したが、今回のボーナスには影

響しないよう平成29年からの施行となつている。今後、庁舎、福祉会館建設、清掃関連施設整備、可燃ごみ処理施設建設等多額の財源需要は計り知れない。

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

12月8日の本会議において予算特別委員会(中山克己委員長)に付託し、12月15日、21日の計2回にわたり審査を行いました。

【賛成討論(要旨)】

小 林 正 樹 (公 明 党)

一般会計補正予算の審査で指摘し反対をしたが、職員給与増額のための財源のみではなく、国民健康保険税の還付金が含まれている。還付金は、加入期間の変更などにより納め過ぎとなつた国民健康保険税を被保険者である市民に返金しなければなら

【反対討論(要旨)】

水 上 洋 志 (日 本 共 産 党)

賛成の理由は次のとおり。①職員の労働条件は労使合意で決めることが原則であり、議会はそれを尊重する立場であるため。②市政運営の責任を職員の責任に転嫁すべきではなく、給与は大きく減額されており市財政に貢献している状況であるため。③公務員の労働条件の引下げは、民間にも影響を与え、結局低い方に基準を下げていくこととなるため。最低賃金の引上げなど労働条件の改善に力を合わせる必要がある。しかし、本予算に含まれる国民健康保険税の被保険者への還付金は、対象者が多く、12月末で予算が不足する見込みとなることが判明した。この義務的経費はやみくもに予算措置するのではなく還付状況に応じて随時、増額の承認をしてきた。関連議案の否決で実質、ボーナス引上げを執行できないことから、市民に影響が出ないよう本予算に賛成する。

【賛成討論(要旨)】

湯 沢 綾 子 (自 民 党 小 金 井)

新庁舎・新福祉会館の建設や待機児童の解消について見通しが立たない状況にもかかわらず職員のボーナスを引き上げるのでは、市民の理解が得られない。職員数を削減して少数精鋭の体制を心がけることと、長期的な展望に立った財政計画を示すことを要望してきたが、いずれも全く達せられていない。人事委員会勧告に反する結論を出すのは難しい判断であるが、市を心配する声と受け止め、市民にも職員にも不安を抱かせない財政運営に努めてほしい。

【賛成討論(要旨)】

鈴 木 成 夫 (市 議 会 民 進 党)

単なる給与の引上げではなく、市議会が市職員を人財か、それとも負債と捉えるのが問われている。将来にわたり市民サービスを担う優秀な人財を確保できるかの問題である。勧告を無視する市議会が、将来小金井市に就職を希望する若者に与える影響の大きさを考えるべき。今後も難しい市政運営を求められる当市では、覇気ある優秀な職員が必要で、本議案は市政の課題解決のための必要最低限の経費と考えることが重要である。

片山 薫(緑・市民自治) 労働争議権のない市職員の給与に関して、東京都や国の勧告に準じて見直しをする、という現在の制度について、全く不合理とは言えない。しかし、勧告した人件費を東京都や国が補填せず、各自治体の一般会計からの持ち出しとなると、それぞれの財政事情に応じての検討が必要である。非正規職員の待遇改善に取り組みながら、安定した雇用体制を整え、賃金と仕事の両方を考えていくことが必要だ。

職員給与に関する条例の一部を改正する条例

本条例の概要は1面に掲載しています。

【賛成討論(要旨)】

宮 下 誠 (公 明 党)

この提案は、3年間で6千400万円の歳出増となるもの。市は市庁舎と福祉会館建設を始めとする大型事業を提案しておきながら、今後5年間、10年間の財政計画を示すべきという指摘に

【反対討論(要旨)】

吹 春 や す た か (自 民 党 小 金 井)

団員不足解消のため、山梨県甲斐市の取組を参考に提案している。しかし次の理由により反対する。①甲斐市職員の市内在住率は83%であるが、小金井市は3割を切っているため。②甲斐市職員採用試験案内には市内住民登録を有する人に限る住所要件が明記され、小金井市で同じ要件を設定した場合、今後の市職員の採用状況に影響を及ぼすことが懸念されるため。③入団に関しては、より慎重かつ丁寧に対応すべきと考えるため。

【賛成討論(要旨)】

百 瀬 和 浩 (リ ベ ラ ル 保 守)

この陳情書は、本町暫定庁舎敷地に隣接する大型共同住宅の管理組合法人が、同じ街区を所有する市に対して「地区計画」に定められた当該地区の目的を合理的かつ効果的に達成するために、今後も対等に協議を行う場の設けることを求めたものである。現時点で陳情者、市双方の具体的なまちづくりの方針は、必ずしも明らかになっていないが、今後も双方が知恵を出し合い、より良いまちづくりが進展することを願う、賛成する。

【反対討論(要旨)】

新 入 職 員 を 消 防 団 に 研 修 配 属 する こと を 求 め る 陳 情 書

シャトー小金井建替えの行政協議に関する陳情書

【反対討論(要旨)】

片 山 薫 (緑 ・ 市 民 自 治)

選挙管理委員及び同補充員の選挙を12月22日に行いました。選挙管理委員には、市間博氏、永並譲氏、池田祥子氏、井塚忍氏、同補充員には、第1順位として小沼廣和氏、第2順位として河合賀代氏、第4順位として佐々木勇氏が当選しました。

【賛成討論(要旨)】

選 挙 管 理 委 員 補 充 員 を 選 挙 選 挙 管 理 委 員

選挙管理委員及び同補充員の選挙を12月22日に行いました。選挙管理委員には、市間博氏、永並譲氏、池田祥子氏、井塚忍氏、同補充員には、第1順位として小沼廣和氏、第2順位として河合賀代氏、第4順位として佐々木勇氏が当選しました。

【賛成討論(要旨)】

選 挙 管 理 委 員 補 充 員 を 選 挙 選 挙 管 理 委 員

選挙管理委員及び同補充員の選挙を12月22日に行いました。選挙管理委員には、市間博氏、永並譲氏、池田祥子氏、井塚忍氏、同補充員には、第1順位として小沼廣和氏、第2順位として河合賀代氏、第4順位として佐々木勇氏が当選しました。

【賛成討論(要旨)】

選 挙 管 理 委 員 補 充 員 を 選 挙 選 挙 管 理 委 員

選挙管理委員及び同補充員の選挙を12月22日に行いました。選挙管理委員には、市間博氏、永並譲氏、池田祥子氏、井塚忍氏、同補充員には、第1順位として小沼廣和氏、第2順位として河合賀代氏、第4順位として佐々木勇氏が当選しました。

【賛成討論(要旨)】

選 挙 管 理 委 員 補 充 員 を 選 挙 選 挙 管 理 委 員

選挙管理委員及び同補充員の選挙を12月22日に行いました。選挙管理委員には、市間博氏、永並譲氏、池田祥子氏、井塚忍氏、同補充員には、第1順位として小沼廣和氏、第2順位として河合賀代氏、第4順位として佐々木勇氏が当選しました。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果		【会派略称】													議決結果									
		自：自由民主党小金井市議団			民：小会市議市民進党			共：日本共産党小金井市議団			リ：リベラル保守の会			改：改革連合										
付託先略称		即：委員会付託を省略し本会議で採決		厚：厚生文教委員会		議：議会運営委員会		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																
付託先		自	自	自	自	共	共	共	共	公	公	公	公	民	民	リ	リ	ネ	ネ	緑	緑	改	会	小
		吹	湯	中	遠	中	水	関	板	森	渡	小	紀	宮	鈴	岸	百	渡	林	坂	片	篠	齋	露
		春	沢	山	藤	根	上	根	倉	戸	辺	林	由	下	木	田	瀬	辺	頭	井	山	原	藤	口
		やす	綾	克	百	三	洋	優	真	洋	ふ	正	紀	誠	成	正	和	大	祐	え	薫	ひろ	康	哲
		た	子	己	合	枝	志	司	也	子	き	樹	子	誠	夫	義	浩	三	子	子	子	し	夫	治
平成28年度小金井市一般会計補正予算（第6回）	予	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	原案可決
小金井市議会議員及び小金井市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市個人情報保護条例及び小金井市個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	原案可決
小金井市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市立保育園条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都六市競艇事業組合規約の一部を改正する規約	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市有料自転車駐車場条例の一部を改正する条例	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度小金井市一般会計補正予算（第7回）	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	原案可決
↳ 平成28年度小金井市一般会計補正予算（第7回）に対する組替え動議（議員提案）	即	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	否決	
平成28年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	原案可決
特別職の給与に関する条例の特例に関する条例	総	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
小金井市農業委員会委員定数条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東小金井事業創造センターの指定管理者の指定について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度小金井市下水道事業特別会計補正予算（第1回）	予	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
平成28年度小金井市介護保険特別会計補正予算（第2回）	予	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
小金井市市民参加条例の一部を改正する条例（議員提案）	総	×	×	×	×	△	△	△	△	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	否決
小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例（議員提案）	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	否決
（仮称）小金井市健全な財政運営の確保に関する条例策定市民検討委員会設置条例（議員提案）	総	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	否決
小金井市介護老人福祉施設利用者支援金に関する条例（議員提案）	厚	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	否決
小金井市就学援助費支給条例（議員提案）	厚	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	否決

請願・陳情の審議結果		【会派略称】													議決結果									
		自：自由民主党小金井市議団			民：小会市議市民進党			共：日本共産党小金井市議団			リ：リベラル保守の会			改：改革連合										
付託先略称		即：委員会付託を省略し本会議で採決		厚：厚生文教委員会		議：議会運営委員会		○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席 議：議長（原則、採決には加わらず）																
付託先		自	自	自	自	共	共	共	共	公	公	公	公	民	民	リ	リ	ネ	ネ	緑	緑	改	会	小
		吹	湯	中	遠	中	水	関	板	森	渡	小	紀	宮	鈴	岸	百	渡	林	坂	片	篠	齋	露
		春	沢	山	藤	根	上	根	倉	戸	辺	林	由	下	木	田	瀬	辺	頭	井	山	原	藤	口
		やす	綾	克	百	三	洋	優	真	洋	ふ	正	紀	誠	成	正	和	大	祐	え	薫	ひろ	康	哲
		た	子	己	合	枝	志	司	也	子	き	樹	子	誠	夫	義	浩	三	子	子	子	し	夫	治
小金井市議会における審議時間、資料要求数の削減に関する陳情書	議	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	採択
教育長の選任同意にあたって、採決前に、候補者の考えを確認すること等を求める陳情書	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
小金井市正規職員採用試験における障がい者雇用の合理的配慮を改めて求めることに関する陳情書	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
国に対して「保育予算を大幅に増額し、安心できる保育の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
市職員のボーナスは引き上げず、市庁舎・福祉会館建設や保育所待機児童解消に財源を優先配分することを求める陳情書	総	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて「受動喫煙防止条例」の早期制定を求める陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
東京都小金井市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市における受動喫煙防止に関する陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
財政援助団体の適正な運営の確保に関する陳情書	総	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	×	不採択
新入職員を消防団に研修配属することを求める陳情書	総	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	不採択	
〔（仮称）はけと野川の緑と水辺を守り育てる条例〕制定を求める陳情書	建	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	×	不採択
東京都知事に対する非核都市宣言等を求める意見書提出に関する陳情書	総	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	不採択
消防吏員に労働基本権である団結権を与えることを求めることに関する陳情書	総	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
「チャレンジデー」の本音を問う陳情書	厚	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	△	×	不採択
シャトー小金井建替えの行政協議に関する陳情書	建	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	不採択
「小金井市自然エネルギー推進条例」（仮称）の制定を求める陳情書の撤回	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
シャトー小金井建替えの行政協議に関する陳情書の訂正	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

一般質問とは

議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。

市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会Q&A

- Q** 一般質問はいつ行われるの？
- A** 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q** 質問時間はどのくらい？
- A** 1人1回おおむね1時間以内です。
- Q** 傍聴はできるの？
- A** だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続をしてください。

避難所に水質検査キットを 貫井北町に公園を



吹春やすたか(自民党小金井)

Q 市の震災対応について問う。
(ア)骨折、脱臼、捻挫、打撲などに、素早く対処が可能な柔道整復師会との連携は。(イ)市役所本庁舎に耐震補強を施し、大震災に備えないか。(ウ)市内には複数の井戸が存在している。避難所開設時は、水の供給のために井戸水の有効利用が望まれるが、

水質による健康被害は避けたい。避難所に水質検査キットとろ過器を配置しないか。

総務部長 (ア)医師会、歯科医師会、薬剤師会及び柔道整復師会とは協定を結び対応に備えている。今後も研究してまいりたい。(イ)新庁舎建設と密接に関係しており、総合的に検討したい。(ウ)小中学校に17台の手動ろ過器

を備蓄している。提案の水質検査キットの備蓄は検討したい。

Q 貫井北町地域には、子育て世代にとって親しめる公園が少ない。今後の対策はどうか。

環境部長 指摘の地域の現状は認識し、必要と考える。市全体の公園整備として検討したい。

Q 市内スポーツ施設にボルダリング設備を導入し、新たな魅力として発信しないか。

生涯学習部長 複数の点から魅力的で注目されている競技と認識している。提案は多角的な観点から調査していく。

全ての人が共に暮らすまち 小金井の実現へ



鈴木成夫(市議会民進党)

Q 高齢者や子育て中の方を含め、支援や配慮が必要な方の乗降スペースを各駅に設置しないか。

市長 人が多く集まる駅前広場の乗降スペース設置については、警察署及び関係機関と協議し、改善できるよう努力したい。

Q 廃棄物適正処理と市の環境負荷軽減の取組状況は。

環境部長 リサイクル推進協力店参加は、中小店舗にメリックがないことが唯一の欠点。商工会などの意見を聞き、要綱の見直しを検討していきたい。

福祉保健部長 在宅医療の使用済注射針の排出が多くなり、市民やごみ収集作業員の針刺し事故による感染防止の観点から

大きな課題である。薬剤師会と協議し支援の検討を進めたい。

都市整備部長 蛍光灯比で6割の電力削減、5〜7倍の寿命、補修対応の軽減化が図れるLED街路灯の採用を進める。

Q 地域が命を守るまち小金井の実現に向けて、防災の取組は。

総務部長 商店会との災害協定、今後どのような協力体制が構築できるか検討したい。商店会の自主防災組織結成は想定していないが、町会・自治会に参加し、共に地域防災の一翼を担っていただきたい。

計画的に路面下空洞化 調査を実施しないか



小林正樹(公明党)

Q 道路の陥没事故で、最も多い下水管の劣化が原因とみられる事故は全国で年間5千件を超える年もある。市内下水道管の総延長は約245kmあり、今後、更新のピークが来ることから、計画的な管理が重要であり、多額の財源と期間が必要となる。計画的に超音波による路面下空洞

化調査を行い、管の劣化箇所を発見し、優先順位を付けて道路と管の修繕を同時に行うべきではないか。

都市整備部長 全ての道路について、目視による点検では道路の空洞化を発見することは難しい。ご提案いただいた超音波による路面下空洞化調査について検討したい。

Q 市民が自発的に健康維持に取り組み、元気に日常生活を送れるよう包括的な対策を求める。(ア)安心してお出かけできるように、おもいやりベンチを設置しないか。(イ)公民館緑分館を適正な明るさにしないか。

都市整備部長 (ア)設置場所の選定を始めたい。

公民館長 (イ)今年度中に改善できるように努力する。

Q その他、空き家を活用した居場所づくりや、楽しく運動できる工夫等を提案しました。

福祉会館と市庁舎の 複合化の合理性を問う



百瀬和浩(リベラル保守)

(ア)大規模災害の発災後、災害ボランティアの受入れを担う社会福祉協議会を福祉会館に設置することが決まっているが、災害時の福祉会館機能についての見解は。(イ)大規模災害が発生すれば、市庁舎に災害対策本部が置かれる。市庁舎と社会福祉協議会が置かれる福祉会館の連携

が必要になり、複合化は合理的であると考えるが、見解は。

福祉保健部長 (ア)新しい福祉会館の求められる理念の一つとして、災害発生時、災害ボランティアの拠点となる施設を掲げてきた。また、地域防災計画にも社会福祉協議会の役割としてボランティアの受入れの体制整備を行い、災害発生時に備える

と計画し位置付けられている。

企画財政部長 (イ)庁舎及び福祉会館については、防災機能の視点から複合化による機能強化が見込めるものと考えている。議員自ら施設配置の資料を作成いただき感謝する。プロジェクトチームの報告書の共有できるイメージを更に提案いただいたものと考えている。

Q その他、第二庁舎の将来、小金井市事業継続計画、未利用のJR中央線高架下の利用促進について質問しました。

安心の幸齢者対策について



渡辺ふき子(公明党)

Q 高齢ドライバーの運転ミスによる悲惨な事故が増加している。(ア)市内の自動車教習所と連携して70歳以上のドライバーに対し、1年ごとに認知機能検査を実施する等、市独自の安全運転対策を考えないか。(イ)運転免許証の早期自主返納を進めるため、75歳以上の市民のココバス

利用料金を無料にしないか。

都市整備部長 (ア)市内の教習所では70歳以上のドライバーに対し、免許更新時に講習会を実施している。平成29年の道路交差点改正も含め研究する。(イ)貴重な意見として参考にする。

市長 小金井らしい取組を検討する。

Q 認知症カフェの利用が広がっている。(ア)場所の確保等、市が後押しして集いの場を拡充しないか。(イ)介護者の手引きにもなる介護者手帳を市で取り入れ、市民に周知しないか。

福祉保健部長 (ア)認知症カフェは心強い存在。国や都の助成金の活用を視野に研究する。(イ)認知症ケアパスと介護者手帳を比較し、研究したい。

市長 市民の力やアイデアが反映できるよう取り組みたい。

Q その他、青少年の健全な成長と、桜樹の保護について質問しました。

小中学校、特に四小の雨漏り対策を



遠藤百合子(自民党小金井)

Q 全学校の校舎の耐震工事が終了し、非構造部材の耐震工事も進む中、各学校の雨漏り対策が必要である。(ア)四小の状況を拝見させていただいたが、その対応は急を要す。今後の対応は。(イ)各学校の雨漏り状況に応じ、随時対応を。(ウ)都へ予算要望を。学校教育部長 (ア)現状を調査

し、対応を検討している。(イ)各校の実情により、優先順位をつけて修繕している。(ウ)老朽化対策として予算要望している。

教育長 平成29年度の予算に要求していくよう指示している。

Q ココバスの貫井前原循環の千手院東バス停にベンチ設置を。都市整備部長 関係部署と調整していきたい。

Q 小・中学校でのパソコン及びタブレット授業の推進を。(ア)各学校の現状と前原小の取組は。(イ)新たなタブレットの整備を。

学校教育部長 (ア)平成27年度、28年度は東京都ICT教育環境整備支援事業指定校として、一校、東小、東中が取り組み、平成28年度は前原小が総務省の若年層に対するプログラミング教育の普及促進事業に取り組みしている。(イ)導入を検討している。

市長 取組を応援したい。

Q その他、下弁天子供広場周辺の通路の改善を質問しました。

小規模企業の振興計画を



関根優司 (日本共産党)

市の産業振興プランは素晴らしい内容だが、不十分な点がある。新たに基本法もできた小規模企業の振興の分野である。小規模企業の振興基本法を議決した国会の意思は、国と自治体が連携し、地域を支える小規模企業が廃業しないよう持続発展を図るといものだが、国の計画で

ルテを作るなど、小規模企業・転廃業を繰り返し返しているような分野を含め、全業者対象に施策を図るべきではないか。武蔵小金井駅南口再開発で市内小売業者は厳しい状況になった。

市民部長 市内の企業はほとんど中小企業であり、市の産業振興プランは、国の小規模企業振興計画と類似した内容になっている。小金井市産業振興プランを本市の産業振興の基本計画としたい。市内では特に小売業の状況が厳しいものとなっている。

小規模企業が持続発展する施策が求められている



厳しい経済状況の下、市民の負担の軽減を



森戸洋子 (日本共産党)

私たちが実施したアンケートでは、生活が苦しくなったと答えている市民が61%であった。生活の厳しい実態が寄せられている。(ア)国保税は増税の結果、昨年度決算で約5億円の赤字が出た。均等割額を1人当たり5千円引き下げるには約1億円余りで実現できる。減税しないか。

(イ)介護保険料が上がり続け、高齢者から負担が厳しくなるとい声が多く寄せられている。介護保険料を月200円減らすためには試算すると6千240万円の財源があれば実現できる。一般財源からの繰入れも含め引き下げないか。(ウ)小・中学校の学校給食費を来年度から値上げしようとしているが、全国的には自治体

補助・無償化する流れだ。1食10円を補助するには千260万円の財源でできるが、実施しないか。市民部長 (ア)総合的な判断の下、適切な税率によりご負担をお願いする。(イ)高齢者の助け合いの仕組みであり、一般会計からの繰入れは適当ではないと考える。(ウ)学校給食費については、保護者が負担することが、法律で明記されており、ご理解いただきたい。

にかかわる事業として、関係者に限らず全市民とその趣旨を共有していきたい。そのために委員会の力を借りてはどうか。

学校教育部長 (ア)来年度から、学校給食担当課の職員とJA担当者との意見交換会を始めたい。教育委員会だけでなく、市の経済課、農業委員会等とも協力し、JAや農家の方々と連携をとることを目標に進めていく。(イ)委員会でも地場野菜の活用について理解を深めるため、農家の方の委員会への参加や農家見学会を検討していく予定である。

続・給食に地場野菜の活用を求める



湯沢綾子 (自民党小金井)

給食に地場野菜を活用することとは、食育の観点からも都市農業振興の観点からも大きな効果が期待できる。以前から繰り返し要望してきているが、具体的に課題をクリアするために動き出してほしい。(ア)まずは学校、給食関係者、農業者、農業関係団体等が連携できる場の設置を

求める。給食での地場野菜使用率が高い自治体では、促進のため補助金等を出している例もある。意見交換をして事業内容を具体化する中で、本市らしいやり方を模索してほしい。(イ)本市には、市民と共に給食のあり方を考える場としてみんなの給食委員会がある。地場野菜の活用は、都市農業を誇る本市の将来

にかかわる事業として、関係者に限らず全市民とその趣旨を共有していきたい。そのために委員会の力を借りてはどうか。



Table with 4 columns: 市町村, 国保料, 介護保険料, 介護サービス費. Lists various municipalities and their respective rates.

多摩各市との国保料の税率比較(2016年度) 資料: 国保料の税率比較

野川とはけの自然保全 制服代の把握を



片山 薫 (緑・市民自治)

①(ア)都市計画道路問題が起きている以降、野川とはけの自然に注目が集まっている。市民と行政が協働し、自然保全の記録を冊子などにまとめないか。(イ)市主催のシンポジウムなどを開催しないか。(ウ)市民と共に自然保全の計画作りを。環境部長 (ア)今後研究する。

②学校の保護者負担を減らすためには実態調査が必要である。就学援助を引き下げる代わりに、入学準備金を増やすという説明があった。入学準備金の基礎データが必要。(ア)各中学校の制服代は。(イ)給食の無償化に取り組み自治体を参考に、社会保障の観点から値上げではなく給食費無償化を検討すべき。(ウ)就学援助の認定倍率が引き下げられたことによる影響調査は。

学校教育部長 (ア)把握していない。学務課長 (イ)給食費無償化は考えていない。(ウ)影響調査は難しい。その他、政策決定過程の行政文書の保存年限と電子データ化の取組について質問しました。

子ども医療費無料化の充実・拡充を



板倉真也 (日本共産党)

所得制限をなくし、医療費無料化を義務教育の範囲まで拡大すべき。(ア)1学年当たりの一般財源の必要額及び義務教育全てを無料にした場合の一般財源の必要額は。(イ)現行、所得制限内の医療費無料化においても通院1回当たり200円の窓口負担が発生するが、義務教育期間全てに

において小金井市がこれを負担した場合の一般財源額は。(ウ)西岡市長の公約の中には、子ども医療費無料化の所得制限撤廃の考えは入っているか。子ども家庭部長 (ア)全学年を無料にした場合の市負担額は約6千969万円の増額、これを義務教育の9学年で割ると約774万円となる。(イ)現行の制度のまま、

性を示せるよう鋭意努力する。福祉保健部長 (ア)従来の考え方にとられず、幅広い市民ニーズに即した、将来を見据えた機能を持ち合わせた新たな福祉会館について鋭意検討中である。市長 (イ)私の責任は、市庁舎問題の解決に向けて精いっぱい取り組むことである。生涯学習部長 (ウ)公民館運営審議会では、市の中心部に旧公民館と同等程度の規模、面積を確保することを理想とすること

新福祉会館の早期建設を最優先で



水上洋志 (日本共産党)

福祉会館建設を最優先で行い、市庁舎は蛇の目ミシン工場跡地に市民負担がないよう建設することを提案する。市長の考えを質問する。(ア)「ゼロベース見直し」後の検討はどうなっているのか。(イ)市長は「市役所問題の解決」を公約に掲げた責任をどう考えるのか。(ウ)公民館につい

てはどこでどのような検討を行うのか。(エ)早期に方向性を示すべきではないか。企画財政部長 (ア)早期に庁舎問題の解決を図るために新庁舎建設に向けた今後の検討が指示され、現在も検討中である。一歩でも進めるために建設予定地の測量と地歴調査の経費を措置した。(エ)できるだけ早期に方向

性を示せるよう鋭意努力する。福祉保健部長 (ア)従来の考え方にとられず、幅広い市民ニーズに即した、将来を見据えた機能を持ち合わせた新たな福祉会館について鋭意検討中である。市長 (イ)私の責任は、市庁舎問題の解決に向けて精いっぱい取り組むことである。生涯学習部長 (ウ)公民館運営審議会では、市の中心部に旧公民館と同等程度の規模、面積を確保することを理想とすること

かまどベンチを増やそう 人財育成の進捗は



田頭祐子(生活者ネット)

①滋賀県立彦根工業高校の生徒と地域住民が、3〜5万円の経費でできる手作りの「防災かまどベンチ」を公園や小中学校に設置している。市民参加で手作りかまどベンチを公園や学校に設置し、防災力・地域力を高めたいか。
環境部長 今後の公園整備の

及びかねいあした研究所の目標、取組状況は、効果を高めるために、常設化しないか。
総務部長 (ア)評価は難しい。市民サービス向上につながる職員自らの仕事の姿勢を重視。

企画財政部長 (イ)職員提案制度は市民サービス向上等が目的。直近3年間で7件が具体化した。かねいあした研究所は職員の自己啓発意欲の向上等が目的。研修を提案した実績がある。研究成果を庁内報告会で共有。期間は概ね1年間が妥当だが、参加職員の意見を参考に研究する。



高校生と地域住民が一緒に作ったかまどベンチで炊き出し交流

一口も早く福祉売店 「りんく」の再開を



坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)障害者週間で、第二庁舎では市内障がい者施設の製作品を販売しているが、昨年までは広報されているが、以前提案した改善の取組は。(イ)福祉会館閉館に伴い、りんくの店も閉店を余儀なくされている。第二庁舎入口もしくは人通りの多い場所での確保等を求める陳情書を

ない。動線の確保も難しく、現段階では困難。
市長 (ウ)りんくの店の必要性は十分認識している。何とか形にできるような担当と話している。その他、通学路「防犯」カメラ情報公開件数の報告漏れの対応と再発防止策がなされていること、国民健康保険証等の性別表記について理由が認められる際は裏面表記できること、「市民と市長の座談会」は今後年2〜4回行うことと保育設置を前向きに検討していることを確認しました。

全会一致で可決したが、現状は。(ウ)りんくの店の設置目的は物販でなく就労支援。市長の考えは福祉保健部長 (ア)本年度新たに市報や市政だより、市ホームページで掲載。市職員にも周知を図った。(イ)第二庁舎入口付近は、人の往来が多く非常に困難。市民課フロアは検討したが、販売を目的とした設計になってい



記事が掲載された市報

行財政改革は、改善・改革・再構築の意識で

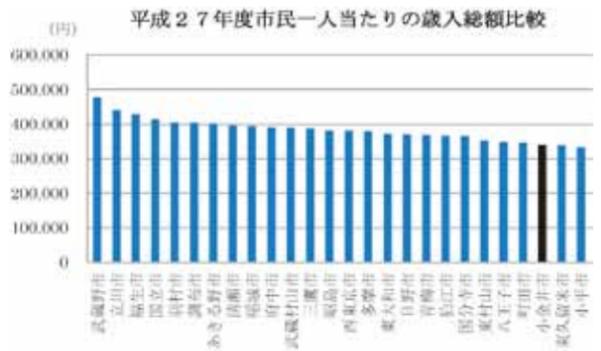


斎藤康夫(市民会議)

行財政改革を行う上で三つの段階を意識して行うべきである。改善とは、日々の工夫・他市との比較である。改革とは、ルール変更・歳入改革・組織改革である。再構築とは、ビジネスモデルの再構築・提携・業務転換である。(ア)第四次行財政改革大綱策定において、このような意

識を持って行っていくか。(イ)市民の利便性や市の活性化のために駅から遠い地域に商業施設ができれば、私有財産の評価の上昇を図ることができる。歳入構造改革は都市計画変更により構成比の高い固定資産税の増収を図ることが効果的ではないか。

企画財政部長 (ア)改善とは、現状肯定の観点から改良を加えること。日常的な改善が改革の土台となる。改革とは、現状を否定することから始めること。前例踏襲から制度見直しの意識を醸成することを考えている。(イ)歳入の確保については、行財政改革プラン2020策定方針として、歳入確保に向けた取組の強化と、受益者負担の基準見直しの二つの柱で検討中である。その他、「ごみ処理経費の見直し」「新市庁舎建設のタイムリミット」として、最短で建設することができるとする庁舎の単独建設を主張しました。



「職員削減」公約は いったいどうなったのか



渡辺大三(リベラル保守)

①平成27年の市長選で、市長は、緊急対策の「最初やるべきこと」として職員削減を明記している。(ア)前市長時代の平成27年度は、正規職員は671人だったが、平成28年4月1日に20人増、平成29年4月1日は5人増と増加を続けることになる。選挙で訴えた政策に反しているのではない

か。(イ)職員定数条例は現在790人となっている。定数を削減すべきではないか。
企画財政部長 (ア)前年比プラス20となった。この傾向はしばらく続く。(イ)条例改正案は平成29年6月議会に提出できればと考えている。
②市庁舎と福祉会館の建設について。(ア)スケジューリングと財源

学校施設の長寿命化計画 について改めて問う



林 倫子(生活者ネット)

2020年度末までに策定予定の学校施設長寿命化計画だが、市の人口推計が上方修正され、市長公約の「子育て環境日本一」が実現すれば、学齢期の人口流出が抑えられる可能性がある。施設規模と児童・生徒数のアンバランスを解消するために学区の見直しが必要である。

(ア)2010年に「市立学校適正学区等検討協議会」が立ち上がった理由は。(イ)学区の見直しの現在の考え方は。検討期間と市民参加の機会をどのように作るか。また、子どもの意見をどのように取り入れるか。(ウ)第四小学校の雨漏り修繕の緊急性についての認識は。
学校教育部長 (ア)庁内の作業

ひとり親家庭に「ひより」



中根三枝(自民党小金井)

母子家庭・ひとり親家庭の支援を念頭に置きながら質問する。母子世帯、父子世帯ともに増えている。離婚によってひとり親になった場合、親の責任として養育費は支払われるべきである。(ア)小金井市のひとり親家庭の現状と担当者へ寄せられる相談はどんなことが多いか。(イ)平成23

年6月3日公布の民法一部改正で養育費等の取り決めの明確化がされたが、当事者への周知はどのようになっているか。
子ども家庭部長 (ア)全国母子世帯等調査の平成23年度調査結果から、養育費の受給率は母子家庭で約20%、父子家庭で約4%となっている。小金井市の平成28年10月時点での児童扶養手

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

		【会派略称】 自：自由民主党小金井市議団 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 民：小金井市議会民進党 リ：リベラル保守の会 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・市民自治こがねい 改：改革連合 会：こがねい市民会議 小：小金井自由民主																議決結果							
		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																							
		自吹	自湯	自山	自中	共水	共根	共板	共森	公渡	公小	公紀	公宮	民鈴	民岸	リ百	リ渡		ネ田	ネ林	緑坂	緑片	改篠	会齋	小露
低所得高齢者の社会保障費負担に関する意見書	財政制度等審議会は平成29年度予算編成に向けた建議で、後期高齢者医療費の保険料軽減特例廃止を求めているが、負担能力に応じた公平な社会保障財源確保の考え方と矛盾する。国に低所得者への十分な配慮を求める。	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	議	×	○	原案可決	
スマートメーターに電源遮断機能を付加することを求める意見書	家庭に設置されている電力量計はデジタル化され、通信機能付きのスマートメーターへと移行される。市民の安心のため、通電火災を防ぐ電源遮断機能を、利用者の負担なく付加することを義務化するよう政府に求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
長時間労働を是正する法的規制の強化を求める意見書	日本社会にまん延する長時間労働を是正する徹底した対策が求められている。残業時間月45時間とする法的基準の強化、勤務間の一定の休息時間の保障、サービス残業の規制を労働基準法に盛り込むことを国に求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
災害ボランティア割引制度に関する意見書	大規模災害時には、多くの支援者の参加が欠かせないが、近年の災害多発は必要なボランティアを集める環境が整っていない。被災地に赴く災害ボランティアの交通費や宿泊費の負担を軽減する制度を国に求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	防災・減災対策は喫緊の課題。被災者支援システムの全自治体への完備・普及、自治体の枠を超えた流域ごとのハザードマップ作成等の体制構築、公衆無線LAN設置、避難所の環境整備や防犯体制の強化等を国に求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
49,000人ももの教職員の削減をやめ、子どもに寄り添った教育の実現を求める意見書	人材が大事な資源となる日本で教育は最も重要だ。財務省は、特別支援教育において学級規模と国語スコアに有意な相関関係がないとしている点も遺憾だ。すべての子どもに寄り添った教育環境の整備を政府に強く求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
審議会会場のバリアフリー対応未確認に抗議し、障がいの有無にかかわらず共生する社会の実現を求める意見書	社会保障審議会で会場のバリアフリー対応未確認により車いすの委員が出席を断念した。ご本人や関係者、社会に与えた失望は計り知れない。障がいの有無に関わらず共生する社会の実現に向け、全力を尽くすことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	△	○	原案可決
原発事故避難者の住宅支援延長について緊急な対応を求める意見書	①住宅供与打切りの延期、②現在住んでいる避難先住宅の居住継続の保障、③東京都は新潟県に貸い家賃等の補助、④原発事故避難者の公営住宅への特定入居、⑤新たな立法の整備、以上を国、都、福島県に求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
南スーダン派遣自衛隊への新任務付与の撤回と非軍事の民生支援を求める意見書	自衛隊に付与した「駆け付け警護」「宿営地の共同防衛」の撤回と派遣部隊の撤退、内戦終結のための外交努力、和平に向けた支援策の打ち出し、現在250万人に達する国内避難民と難民への人道支援強化を国に求める。	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
築地市場の豊洲移転の中止を含めた検討を求める意見書	豊洲新市場は土壌汚染対策の一つとされた盛り土が施されず、地下のたまり水から発がん性物質のベンゼンやヒ素が検出され、地下水管理システムも有効に機能していない。よって移転中止を含めた検討を東京都に求める。	△	△	△	△	△	○	○	○	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	議	×	△	原案可決
介護保険制度における新たな負担増の見直しを求める意見書	厚労省は、介護保険における「現役並み所得相当」の利用者負担の3割引上げを示した。今でも負担の重さに家族・利用者から悲鳴が上がっており、痛みを強いるやり方は許されない。引上げの中止を政府に求める。	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
教育の機会の確保等に関する法律案が、不登校の児童・生徒に多様な教育を受ける権利を保障するものとなるよう、慎重審議を求める意見書	法律案は、関係者の声が反映される一方、不登校の子どもが「定義」によって分断されることを危惧する声もある。安心して生きられる多様な教育環境をつくるための法律制定と、法案修正も含めた慎重審議を強く求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	△	△	○	○	○	○	○	○	議	○	×	原案可決
保育予算を大幅に増額し、安心できる保育の実現を求める意見書	国の示す保育問題の緊急対策では、保育の質の低下が危惧される。国の責任で安定的財源を確保し、認可保育所整備を基本とした待機児童解消、職員配置基準と処遇の改善、保育料の引下げ等、総合的な対策を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
東京都議会の議員報酬の削減等を求める意見書	都議会議員の議員報酬の削減、政務活動費の削減と使途内容の公表の範囲の拡大、費用弁償の廃止もしくは実費支給化、公用車の運行経費の圧縮を小金井市議会が求めていることを都議会に伝達するよう都知事に求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	議	○	△	否決
学校事務の共同実施に当たって、慎重かつ丁寧な対応を求める決議	議会への報告がない中の予算措置は遺憾だ。事務分掌や今後のスケジュール、実施時期も明確でない。事務職員、教員と協議を重ね、共同実施の具体的な案を提示すること、課題検討後、議会に報告することを市長に求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	×	否決
平成29年度当初予算に、市庁舎及び福祉会館の設計費用を計上すること等を求める決議	市長に対し、市庁舎及び福祉会館の完成時期を早めること、コスト削減の工夫をすること、来年度当初予算に設計費用を計上すること、図書館本館・公民館本館の施設更新に関する基本的な考え方を提示することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	×	否決

閉会中に開催された委員会及び審査案件

- 建設環境委員会 1月10日(火)午後1時**
 - ▶ 小金井市道路行政の正常化を求める陳情書(3)
 - ▶ 都市整備部長は市民と市議会に対し、公正な資料に基づき、曲解することなく誠実に対応することを求める陳情書
 - ▶ 通行上の安全そしてガス本管の安全確保のため、市道の幅員の確保を小金井市に求める陳情書
 - ▶ 駅周辺の開発・整備に係る諸問題の調査
 - ▶ 小金井市の環境政策推進に係る諸問題の調査
- 総務企画委員会 1月12日(木)午前10時**
 - ▶ 第二庁舎の取得に関する陳情書
 - ▶ 第二庁舎を地主から買い取らないことを求める陳情書
 - ▶ 東部地域への市政センターの設置を求める陳情書
 - ▶ 西岡市長が撤回した「6施設複合化」公約の検証を求める陳情書
 - ▶ 市区町村議会が、都道府県議会へ意見書を提出できるよう所要の法改正を求める意見書に関する陳情書
 - ▶ 来年度当初予算に、市庁舎建設の設計予算を盛り込むことを求める陳情書
 - ▶ 公共施設の再配置及び庁舎建設に係る諸問題の調査
- 厚生文教委員会 1月17日(火)午前10時**
 - ▶ 「小金井橋」という石製の旧欄干保存に関する陳情書
 - ▶ 新福祉会館の早期建設を求める陳情書
 - ▶ 2025年問題に向けての地域包括ケアシステム構築に関する諸問題の調査
 - ▶ 子どもに関する諸問題の調査
- 行財政改革調査特別委員会 1月20日(金)午前10時**
 - ▶ 行財政改革に係る諸問題の調査
- 議会運営委員会 1月23日(月)午後2時**
 - ▶ 小金井市議会事務局職員数及び市議会議員定数の削減に関する陳情書
 - ▶ 議会改革に関する諸問題の調査
 - ▶ ①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

賛成討論 (要旨) 田頭祐子(生活者ネット)

国民への十分な説明もなく、政府は自衛隊に「駆け付け警護」の任務を付与し、派遣団を送った。8月末までに他国で46人が殉職した、最も危険度の高い国連PKOである。日本だけが無い傷である保証はない。内戦地帯への介入は極めてデリケートかつ困難であり、更なる混乱を招きかねない。国連安保理が検討している武器禁輸制裁に対し

賛成討論 (要旨) 板倉真也(日本共産党)

豊洲新市場は、東京ガスの工場が建ち並んでいた場所である。汚染土壌はどこまで広がっているのか、汚染地下水はどうなっているのかなど不明な点がたくさんある。このような場所が生鮮食料品を大量に扱う市場を造っていいのかという点が問われている。都民の不安に応えるため、豊洲新市場の徹底した安全性の調査・検証を行い、安全・安心が保証されなければ、移転中止を含めた検討を速やかに開始すべき。

賛成討論 (要旨) 関根優司(日本共産党)

安倍政権は「過労死促進法案」「残業代ゼロ制度」と呼ばれている高度プロフェッショナル制度の導入や裁量労働制の拡大を行おうとしている。日本共産党、民進党、生活の党(現・自由党)、社民党の野党4党は4月19日、労働時間延長の上限規制、勤務時間インターバル規制の導入、裁量労働制の要件の厳格化等を盛り込んだ長時間労働規制法案を国会に提出した。市議会としても、法的規制強化の意思を国に示すために本意見書に賛成する。

賛成討論 (要旨) 齋藤康夫(市民会議)

集団的自衛権には反対だが、この意見書に簡単には賛否を決定できなかった。現地の状況は「民生支援」と簡単に言える状況ではない。PKOを続ければ自衛隊員の命が危険にさらされる。新任務を撤回すれば、PKOを行って自衛隊員や他国の民間人に対する警護を拒否することになり、日本が人道的支援を放棄する無責任国家と国際的な非難を受けることになる。この選択に当たり、断腸の思いで賛成する。

賛成討論 (要旨) 長時間労働を是正する法的規制の強化を求める意見書

日本は「PKO任務に悪影響が及ぶ」と難色を示した。平和外交で世界を牽引し、非軍事の民生支援を進めるべき。